

ロックンク強弱の調節について

取扱説明書裏面の機能説明欄にて「ロックンク強弱調節」についての説明がありますが、このつまみによるロックンク強弱調節は、D-7501SP、DR-T7550GDの背座ロックンクタイプモデルでは、ロックンクの固さの強弱を感じにくい場合があります。

この場合、下図Aの六角ナットを回すことでロックンクを固くしたり、やわらかくしたりできます。

なお、ナットを回す角度は180度~360度以内にしてください。あまり固く締めすぎると、ロックンクの際に異音が発生いたしますので、ご注意ください。

※六角ナットは絶対に外さないでください。ロックンクが壊れる場合があります。

※六角ナットを回すレンチはご準備ください (17mm)

DR-7501SP、DR-T7550GD の座面下図

